

# 2 1 精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事

## 図面リスト

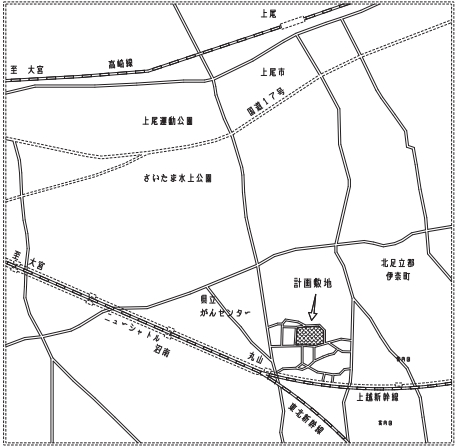
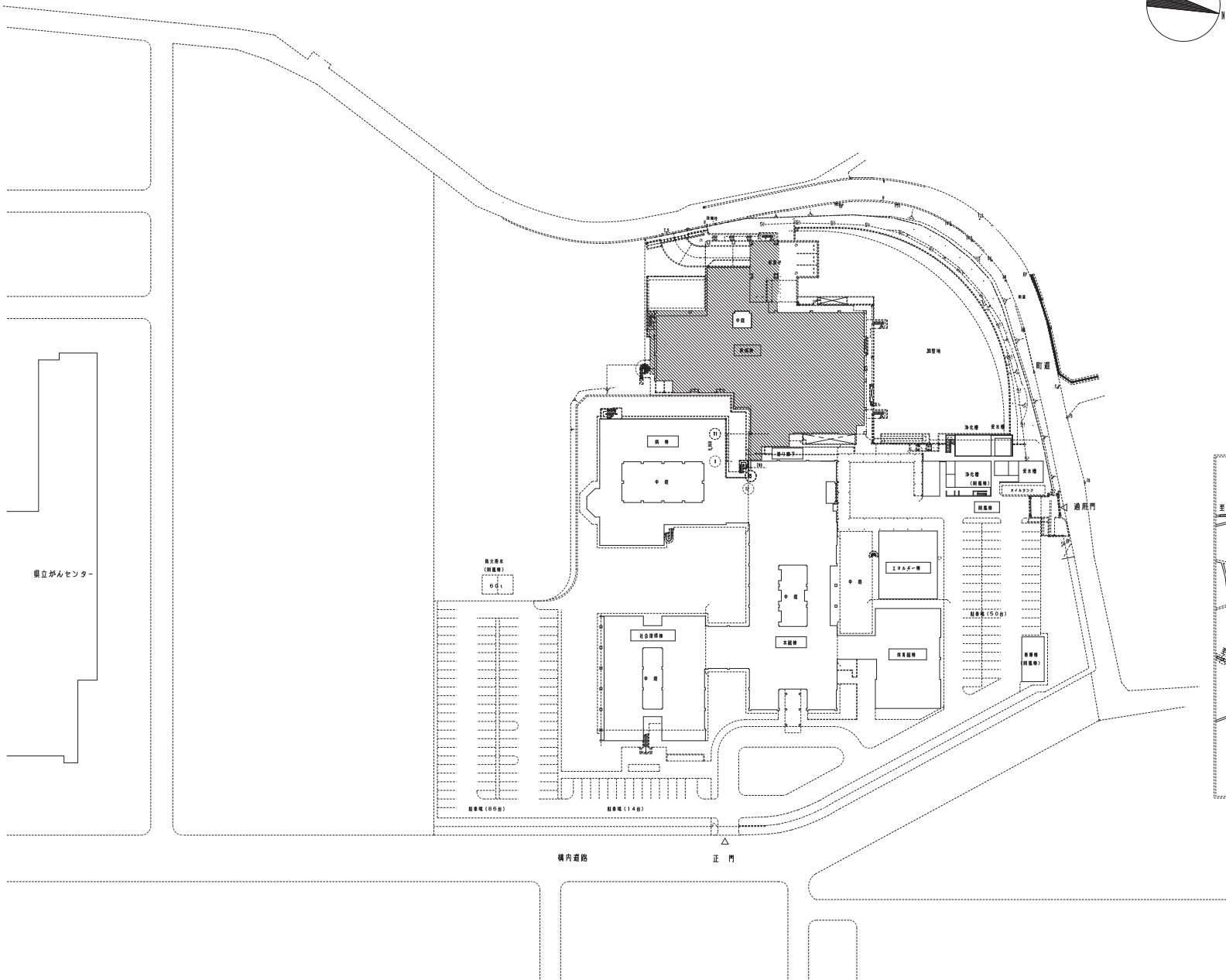
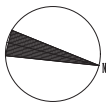
図面番号	図面名	縮尺(A1)
M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	N.S
M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	N.S
M-03	案内図・配置図	1:600
M-04	空調機廻り要領図・凡例	N.S
M-05	空調設備 機器表1 【撤去・新設】	N.S
M-06	空調設備 機器表2 【撤去・新設】	N.S
M-07	空調設備 新館棟1階平面図 【撤去・新設】	1:100
M-08	空調設備 新館棟2階平面図 【撤去・新設】	1:100
M-09	空調設備 新館棟3階平面図 【撤去・新設】	1:100
M-10	空調設備 新館棟屋上階平面図 【撤去・新設】	1:100
M-11	自動制御設備 新館棟1階平面図 【撤去・新設】	1:100
M-12	自動制御設備 新館棟2階平面図 【撤去・新設】	1:100
M-13	空調設備 機器表 【外気処理空調機整備】	N.S
M-14	空調設備 新館棟地下1階平面図 【外気処理空調機整備】	1:100
M-15	空調設備 新館棟2階平面図 【外気処理空調機整備】	1:100
M-16	空調設備 新館棟3階平面図 【外気処理空調機整備】	1:100
M-17	仮設図(参考図)	1:300
E-01	電気設備工事特記仕様書	N.S
E-02	幹線動力設備 新館棟地下1階平面図	1:100
E-03	幹線動力設備 新館棟1階平面図	1:100
E-04	幹線動力設備 新館棟2階平面図	1:100
E-05	幹線動力設備 新館棟3階平面図	1:100
E-06	幹線動力設備 新館棟屋上階平面図	1:100

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図面名	図面番号
							A1: N/S A3: N/S	21精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事	図面リスト	M/E-00



●空気調和設備	① 設計室温度	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの室内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>	外 気		一 般 系 統		屋 内		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	%	%	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	%	%	② 総合運転調整	※本工事・別途 風量調整 ※する ・しない 水量調整 ※する ○しない 騒音の測定 ※する ・しない 室内外空気の温度の測定 ※する ・しない 室内風流及びひんあいの測定 ※する ・しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の取扱設備運転状態の記録 ※する ・しない	③ 煙 道	(1) 鉄板厚 ※(3.2mm・4.5mm) ・ (2) ばい煙度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80とする) ・設けない	④ 煙 突	※別途 ・本工事	⑤ 長方形ダクト	※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ※アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (A区分 ※B区分) ・塩化ビニル製ダクト (A区分 ※B区分)	⑥ 円形ダクト	※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質強化ビニル管 (VU) (耐火二層構造又は耐火VVP ※フレキシブルダクト (・保溫付 ・保溫無)) (注1) 使用区分は図示による。	⑦ 風量測定口	取付箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 遠隔機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト	⑧ チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滲漏しないようにする。	⑨ ダンパー	(1) 防塵ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・ ) 定格入力D C24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・ )	⑩ 多連箇所の排気ダクト	(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質強化ビニル管 (VU) (防火区画箇所又は換気用耐火二層構造又は耐火VVP) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 排水主管は (※浴室、浴室 ※結露水が溜まる部分 ・ ) の排気ダクトには設ける。	⑪ 保 温	下記ダクトの保溫を行う。 ※硬質強化ビニル管 (VU) ※全熱交換機用ヒートレタダクト 仕様は、(R) ・(ロ) ・(イ) とする。 保溫塩化ビニルは、換気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※浴室 ・浴室 ・ ) の用隠蔽い部ダクト (仕様は、(イ) ・(ロ) とし範囲は図示による)	⑫ 試運転調整	風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない	⑬ ダクト	※亜鉛鉄板 ・	⑭ 排煙口の形式	※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形)	⑮ 排煙口手動開放装置	開放及び復帰方式 ※ワイヤ式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要)	⑯ 排煙口風量測定	建築設備定期検査業務基準書 (一財) 日本建築試験センター) の排煙口風量の検査方法に準ずる。	⑰ 中央監視制御装置	・有り ・無し	⑱ 構成・機能	図示による	⑲ 電気計装用機材	使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・室内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠蔽の電線は、図面に特記のない限り樹脂管配線とする。	⑳ 1 配管材料	配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・</td> <td>※R F-V P又はリサイクルV P ・V P</td> </tr> <tr> <td>ウエツト前所、浴室等の湿潤シンドー内配管</td> <td>・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保溫をしない壁外露出部</td> <td>※S U S ・S G P-P D ・H I V P</td> </tr> <tr> <td>・ポリブテン管</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (水運直轄部分)</td> <td>※S U S ・S G P-P D ・H I V P ・水道配水用ポリエチレン管 (P E ) ・</td> </tr> <tr> <td>・H I V P ・水道用ステンレス鋼管</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E )</td> </tr> <tr> <td>居室住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管 (3や管ヘツダ工法)</td> </tr> <tr> <td>※密閉ポリエチレン管 (32 A以上)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用天井内、P S内 (注5)</td> <td>※密閉ポリエチレン管 (10mm保溫付)</td> </tr> <tr> <td>使用天井内</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>使用空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※S U S ・S G P-P D ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> </table>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・	※R F-V P又はリサイクルV P ・V P	ウエツト前所、浴室等の湿潤シンドー内配管	・ポリブテン管	保溫をしない壁外露出部	※S U S ・S G P-P D ・H I V P	・ポリブテン管		地中埋設部 (水運直轄部分)	※S U S ・S G P-P D ・H I V P ・水道配水用ポリエチレン管 (P E ) ・	・H I V P ・水道用ステンレス鋼管		地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E )	居室住宅 住戸内	※ポリブテン管 (3や管ヘツダ工法)	※密閉ポリエチレン管 (32 A以上)		使用天井内、P S内 (注5)	※密閉ポリエチレン管 (10mm保溫付)	使用天井内	※ポリブテン管	使用空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※S U S ・S G P-P D ・H I V P ・ポリブテン管	⑳ 2 配管材料	① 配管材料 ・露出部 M鋼管 その他 保溫付被覆鋼管 (M鋼管) ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管 (さや管ヘツダ工法) ② 絶縁フレンジ 取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ③ 弁 類 (1) 規格はJ I S又はJ V Tとし、指定なきものはK、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、V8-1とする。 ④ ガス瞬間湯沸器 ※屋外設置の湯熱回収型 ・P S内設置の湯熱回収型 ⑤ 電気給湯器 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。	㉑ 1 配管材料	① 配管材料 ・屋内消火栓用 一般配管※S G P (白) ・S T P G 370 (白) Sch40 ・消火栓用 地中埋設※S G P-V S ・H I V P ・消火栓用 一般配管 ※S T P G 370 (白) Sch40 ・不活ガス消火用 ※S T P G 370 (白) Sch40 ・S T P G 370 (白) Sch80	㉒ 2 建物専入部配管	※露出部分について下記のとおり施工する。 ・埋設用フレキシブルジョイントを本とS字状に設ける。 ・標準配管4 ( a ) ・( b ) ・( c )	㉓ 1 配管材料	① 配管材料 ・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はP E管原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・S G P (白) 地中埋設 ※P E管	㉔ 2 ガス漏れ警報 遮断装置	漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。	㉕ 3 液化石油ガスの供給機	ガス設備工事の施工者にガスの供給機は付帯しない。	㉖ 1 厨房機器の固定	原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地盤面に転倒及び位置ずれを起さないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。	㉗ 2 シンク水栓	※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓	㉘ 3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.17安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	① 配管材料	配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・</td> <td>※R F-V P又はリサイクルV P ・V P</td> </tr> <tr> <td>厨房等の湿潤水</td> <td>※S G P (白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管V P (P D S-1)又は耐火V P ・S G P (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※R F-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質強化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・</td> <td>※R F-V P又はリサイクルV P ・V P</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管V P (P D S-1)又は耐火V P ・排水用/ふたば 仕込装飾管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※R F-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質強化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※R S-V U又はリサイクルV U ・V U</td> </tr> <tr> <td>・樹脂管 (白土輪縁合)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・R F-V P又はリサイクルV P (電管の場合)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管V P (P D S-1)又は耐火V P ・S G P (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルV P又はR F-V P ・V P ・排水用硬質強化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・	※R F-V P又はリサイクルV P ・V P	厨房等の湿潤水	※S G P (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (P D S-1)又は耐火V P ・S G P (白)	その他の部分	※R F-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質強化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・	※R F-V P又はリサイクルV P ・V P	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管V P (P D S-1)又は耐火V P ・排水用/ふたば 仕込装飾管	その他の部分	※R F-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質強化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※R S-V U又はリサイクルV U ・V U	・樹脂管 (白土輪縁合)		・R F-V P又はリサイクルV P (電管の場合)		耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (P D S-1)又は耐火V P ・S G P (白)	その他の部分	※リサイクルV P又はR F-V P ・V P ・排水用硬質強化ビニルライニング鋼管	㉙ 2 配管材料	① 配管材料 ・R F-V P又はリサイクルV U又は排水用硬質強化ビニルライニング鋼管 R F-V P、R S-V Uは、REP-10は標準仕様書第2編2・1・2・6による。 ・雨水排水を含む場合は、雨水排水管は排水配管の材料種別による。 ・原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY 45度で行う。 ② 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップ1サイズアップする。	㉚ 3 排水試験継手	3層以上にわたる排水立管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・漏水試験用排除ソケット	㉛ 4 樹木の適用	別様紙表による。	設計年月日	令和3年9月30日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長 管理幹 主 幹 主 査 担 当 給 尺	工 事 名 称	N / S	21 精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事	図 面 名 称	機械設備工事特記仕様書 (2)	図面番号	M - O 2
	外 気		一 般 系 統		屋 内																																																																																																																																																						
温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																																																																																																						
夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	%	%																																																																																																																																																						
冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	%	%																																																																																																																																																						
施 工 箇 所	管 種 別																																																																																																																																																										
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・	※R F-V P又はリサイクルV P ・V P																																																																																																																																																										
ウエツト前所、浴室等の湿潤シンドー内配管	・ポリブテン管																																																																																																																																																										
保溫をしない壁外露出部	※S U S ・S G P-P D ・H I V P																																																																																																																																																										
・ポリブテン管																																																																																																																																																											
地中埋設部 (水運直轄部分)	※S U S ・S G P-P D ・H I V P ・水道配水用ポリエチレン管 (P E ) ・																																																																																																																																																										
・H I V P ・水道用ステンレス鋼管																																																																																																																																																											
地中埋設部 (一般部分)	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E )																																																																																																																																																										
居室住宅 住戸内	※ポリブテン管 (3や管ヘツダ工法)																																																																																																																																																										
※密閉ポリエチレン管 (32 A以上)																																																																																																																																																											
使用天井内、P S内 (注5)	※密閉ポリエチレン管 (10mm保溫付)																																																																																																																																																										
使用天井内	※ポリブテン管																																																																																																																																																										
使用空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																																																																																																										
その他の部分	※S U S ・S G P-P D ・H I V P ・ポリブテン管																																																																																																																																																										
施 工 箇 所	管 種 別																																																																																																																																																										
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・	※R F-V P又はリサイクルV P ・V P																																																																																																																																																										
厨房等の湿潤水	※S G P (白) ・																																																																																																																																																										
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (P D S-1)又は耐火V P ・S G P (白)																																																																																																																																																										
その他の部分	※R F-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質強化ビニルライニング鋼管																																																																																																																																																										
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・	※R F-V P又はリサイクルV P ・V P																																																																																																																																																										
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管V P (P D S-1)又は耐火V P ・排水用/ふたば 仕込装飾管																																																																																																																																																										
その他の部分	※R F-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質強化ビニルライニング鋼管																																																																																																																																																										
地中埋設部	※R S-V U又はリサイクルV U ・V U																																																																																																																																																										
・樹脂管 (白土輪縁合)																																																																																																																																																											
・R F-V P又はリサイクルV P (電管の場合)																																																																																																																																																											
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (P D S-1)又は耐火V P ・S G P (白)																																																																																																																																																										
その他の部分	※リサイクルV P又はR F-V P ・V P ・排水用硬質強化ビニルライニング鋼管																																																																																																																																																										



案内図

注) : 今回対象部分

工事名称	21 精神医療センター新館様ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	案内図・配置図	M-03	
縮尺	1/600		
日付	令和 3年9月30日		
株式会社 雙 設 備 研 究 所			
一級建築士事務所 登録 第 (4) 8378 号 竹馬 章二			

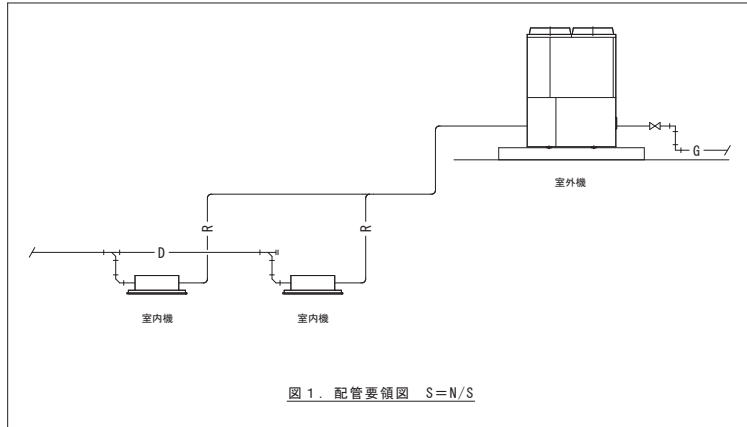


図1. 配管要領図 S=N/S

ガスヒートポンプ空調機 室内機、室外機の更新に伴い下記の工事を行う。(図1、図2参照。工程は参考とする)

1. 室内機廻りの天井一部撤去。
2. 冷媒ガス回収。
3. 室内機 冷媒管、ドレン管の取外し、加湿用給水管の切断・ブラッ止。リモコン配線の離線。
4. 室外機 冷媒管、ドレン管、ガス管の取外し。リモコン配線の離線。
5. 室内機廻りの天井一部撤去。
6. 室内機、室外機、リモコンスイッチ、室内湿度検出器の撤去。
7. 冷媒管洗浄。(洗浄が不要な空調機を採用した場合は、事前に監督員の許可を得て洗浄を取止める事ができる)
8. 室内機の吊りボルトの撤去。
9. 室内機の耐震吊金具の設置。(図3参照)
10. 室内機・室外機・リモコンスイッチの取付。(室外機は既設鋼材に、防振架台は穴明けボルト接合する)
11. 室内機 冷媒管、ドレンフレキの接続。リモコン配線の結線。
12. 室外機 冷媒管、ドレン管、ガス管の接続。リモコン配線の結線。
13. 室内機廻りの天井補修。

室内機作業可能な時間

記号	系統	作業可能時間
ACP-101	調理室	平日夜間又は休日夜間
ACP-108	洗浄室	平日夜間又は休日夜間
ACP-201	NS (5病棟)	平日昼間

凡例

記号	名称	材質(新設)
—R—	冷媒管	特記仕様書による
—D—	ドレン管	特記仕様書による
—○—	シールド付ケーブル	
—/—	EM-CEE (斜線は本数)	
— -- —	給水管	特記仕様書による
—G—	ガス管	特記仕様書による
○RS	リモコンスイッチ	
○H	室内湿度検出器	

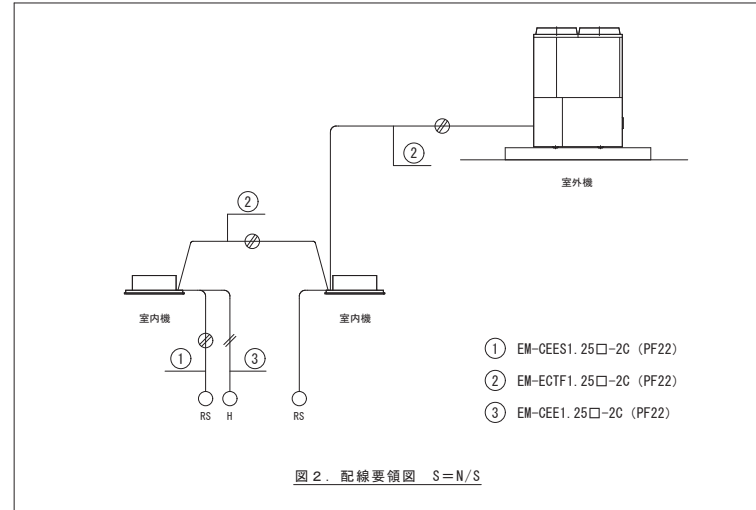


図2. 配線要領図 S=N/S

室内機 リモコンスイッチの更新、室内湿度検出器の撤去に伴い、各機器の離線、結線を行う。

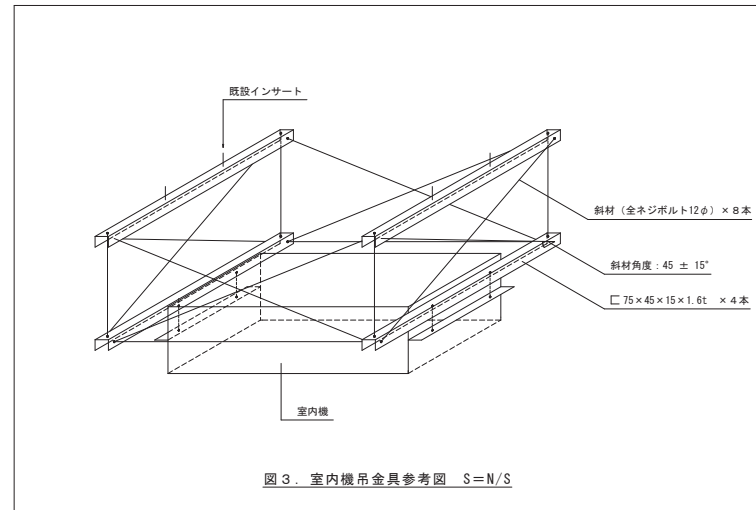


図3. 室内機吊金具参考図 S=N/S

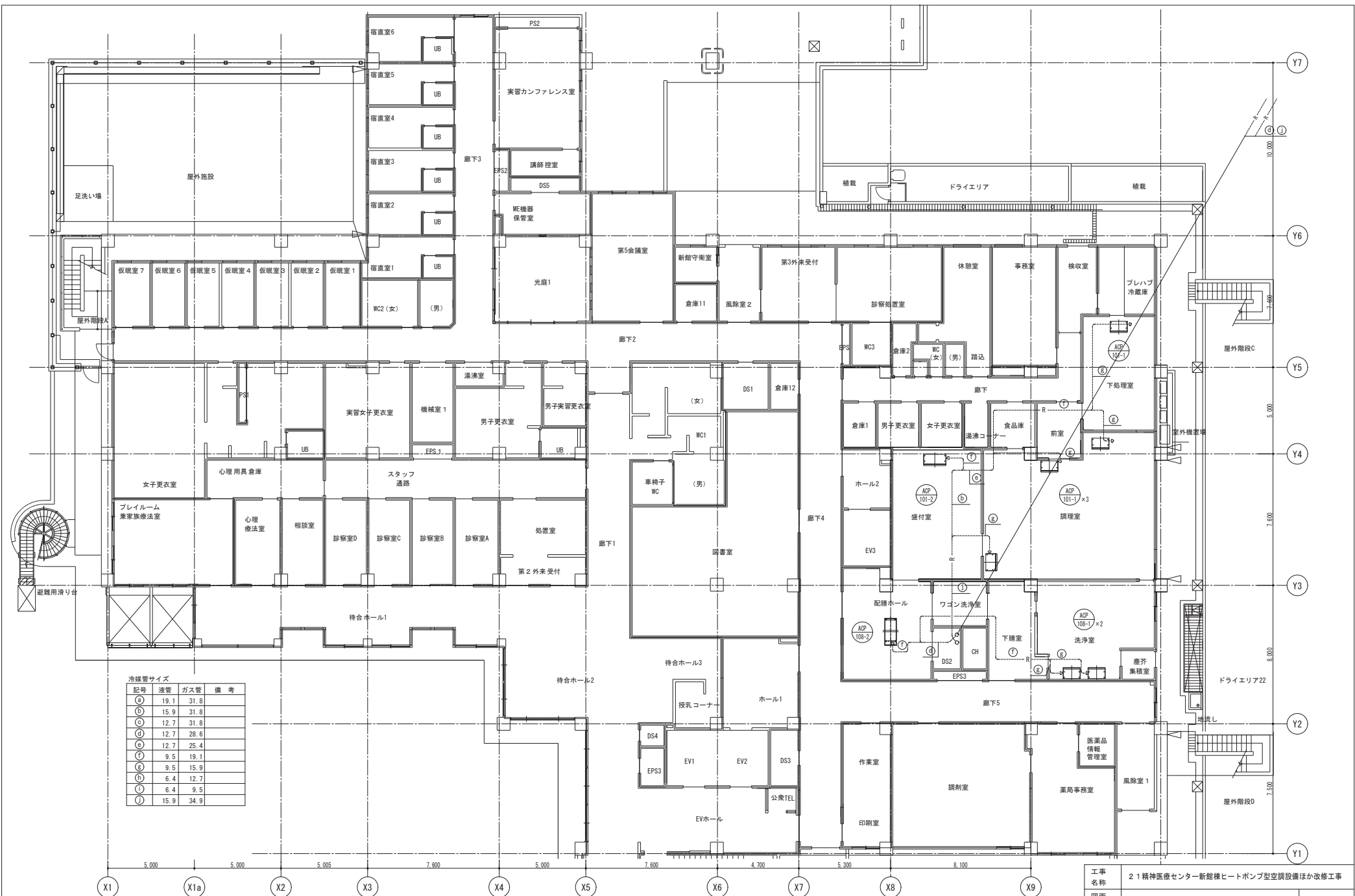
工事名称	21精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	空調機廻り要領図・凡例	M-04	
縮尺	N/S		
日付	令和3年9月30日		
株式会社 雙 設 備 研 究 所			
一級建築士事務所 登録 第 (4)8378 号 竹馬 章二			

機器表 【撤去】										
記号	名称	仕様	台数	電源			設置場所	参考型番		
				φ	V	KW				
ACP-101	ガスヒートポンプエアコン 室外機	冷房能力： 45.0 kW	1	3	200	1.12/1.15	L-S	屋上	GHKP450MT6 (三菱重工)	
		暖房能力： 53.0 kW								
		ガス消費量 (13A) 冷房： 40.2 kW 暖房： 36.4 kW								
		付属品： 防振架台、本体付属品一式共								
ACP-101-1	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 厨房用エアコン	4	1	200	0.07	L-S	1階 調理室、下処理室	GHESP90MD6 (三菱重工)	
		冷房能力： 8.0 kW								
		暖房能力： 9.5 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ								
ACP-101-2	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 厨房用エアコン	1	1	200	0.14	L-S	1階 盛付室	GHESP140MD6 (三菱重工)	
		冷房能力： 14.0 kW								
		暖房能力： 17.0 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ								
ACP-108	ガスヒートポンプエアコン 室外機	冷房能力： 28.0 kW	1	1	200	0.96/1.01	L-S	屋上	GHKP280HT6 (三菱重工)	
		暖房能力： 33.5 kW								
		ガス消費量 (13A) 冷房： 24.5 kW 暖房： 22.4 kW								
		付属品： 防振架台、本体付属品一式共								
ACP-108-1	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 厨房用エアコン	2	1	200	0.07	L-S	1階 洗浄室	GHESP80MD6 (三菱重工)	
		冷房能力： 8.0 kW								
		暖房能力： 9.5 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ								
ACP-108-2	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 天井カセット形 (2方向)	1	1	200	0.08	L-S	1階 配膳ホール	GHTWP112MD6 (三菱重工)	
		冷房能力： 11.2 kW								
		暖房能力： 13.2 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ								
ACP-201	ガスヒートポンプエアコン 室外機	冷房能力： 45.0 kW	1	3	200	1.12/1.15	L-S	屋上	GHKP450MT6 (三菱重工)	
		暖房能力： 53.0 kW								
		ガス消費量 (13A) 冷房： 40.2 kW 暖房： 36.4 kW								
		付属品： 防振架台、本体付属品一式共								
ACP-201-1	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 壁掛形	1	1	200	0.03	L-S	2階 静養室	GHKP28MD6 (三菱重工)	
		冷房能力： 2.8 kW								
		暖房能力： 3.4 kW								
		付属品： リモコンスイッチ、ドレンアップ								
ACP-201-2	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 天井カセット形 (2方向)	4	1	200	0.03	L-S	2階 ナースステーション	GHTWP36MD6 (三菱重工)	
		冷房能力： 3.6 kW								
		暖房能力： 4.2 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、気化式加湿器								
ACP-201-3	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 天井カセット形 (2方向)	1	1	200	0.03	L-S	2階 診察室	GHTWP22MD6 (三菱重工)	
		冷房能力： 2.2 kW								
		暖房能力： 2.8 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、気化式加湿器								
ACP-201-4	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 天井カセット形 (1方向)	1	1	200	0.02	L-S	2階 処置室	GHTSP28MD6 (三菱重工)	
		冷房能力： 2.8 kW								
		暖房能力： 3.4 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、気化式加湿器								
ACP-201-5	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 天井カセット形 (2方向)	1	1	200	0.03	L-S	2階 カンファレンス室	GHTWP45MD6 (三菱重工)	
		冷房能力： 4.5 kW								
		暖房能力： 5.3 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、気化式加湿器								
ACP-201-6	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 天井カセット形 (2方向)	1	1	200	0.03	L-S	2階 ナースルーム	GHTWP56MD6 (三菱重工)	
		冷房能力： 5.6 kW								
		暖房能力： 6.7 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、気化式加湿器								

機器表 【新設】										
記号	名称	仕様	台数	電源			設置場所	リモコンスイッチ数		
				φ	V	KW				
ACP-101	ガスヒートポンプエアコン 室外機	冷房能力： 45.0 kW	1	3	200	0.645/0.505	L-S	屋上		
		暖房能力： 50.0 kW								
		ガス消費量 (13A) 冷房： 37.8 kW 暖房： 34.9 kW								
		付属品： 防振架台、本体付属品一式共								
ACP-101-1	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 厨房用エアコン	4	1	200	0.07×2	L-S	1階 調理室、下処理室		2
		冷房能力： 8.0 kW								
		暖房能力： 9.0 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式								
ACP-101-2	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 厨房用エアコン	1	1	200	0.07×2	L-S	1階 盛付室		1
		冷房能力： 14.0 kW								
		暖房能力： 16.0 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式								
ACP-108	ガスヒートポンプエアコン 室外機	冷房能力： 28.0 kW	1	1	200	0.602/0.614	L-S	屋上		
		暖房能力： 31.5 kW								
		ガス消費量 (13A) 冷房： 29.5 kW 暖房： 25.1 kW								
		付属品： 防振架台、本体付属品一式共								
ACP-108-1	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 厨房用エアコン	2	1	200	0.07×2	L-S	1階 洗浄室		1
		冷房能力： 8.0 kW								
		暖房能力： 9.0 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式								
ACP-108-2	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 天井カセット形 (2方向)	1	1	200	0.035×2	L-S	1階 配膳ホール		1
		冷房能力： 11.2 kW								
		暖房能力： 12.5 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式								
ACP-201	ガスヒートポンプエアコン 室外機	冷房能力： 45.0 kW	1	3	200	0.645/0.505	L-S	屋上		
		暖房能力： 50.0 kW								
		ガス消費量 (13A) 冷房： 37.8 kW 暖房： 34.9 kW								
		付属品： 防振架台、本体付属品一式共								
ACP-201-1	ガスヒートポンプエアコン 室内機 (欠番)	型 式： 壁掛形								
		冷房能力： 2.8 kW								
		暖房能力： 3.4 kW								
		付属品： リモコンスイッチ、ドレンアップ								
ACP-201-2	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 天井カセット形 (2方向)	4	1	200	0.03	L-S	2階 ナースステーション		1
		冷房能力： 3.6 kW								
		暖房能力： 4.0 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式								
ACP-201-3	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 天井カセット形 (2方向)	1	1	200	0.03	L-S	2階 診察室		1
		冷房能力： 2.2 kW								
		暖房能力： 2.5 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式								
ACP-201-4	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 天井カセット形 (1方向)	1	1	200	0.035	L-S	2階 処置室		1
		冷房能力： 2.8 kW								
		暖房能力： 3.2 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式								
ACP-201-5	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 天井カセット形 (2方向)	1	1	200	0.035	L-S	2階 カンファレンス室		1
		冷房能力： 4.5 kW								
		暖房能力： 5.0 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式								
ACP-201-6	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型 式： 天井カセット形 (2方向)	1	1	200	0.035	L-S	2階 ナースルーム		1
		冷房能力： 5.6 kW								
		暖房能力： 6.3 kW								
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式								

工事名称	21精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	空調設備 機器表1 【撤去・新設】	M-05	
縮尺	N/S		
日付	令和3年9月30日		
株式会社 雙 設 備 研 究 所			
一級建築士事務所 登録 第 (4)8378 号 竹馬 章二			





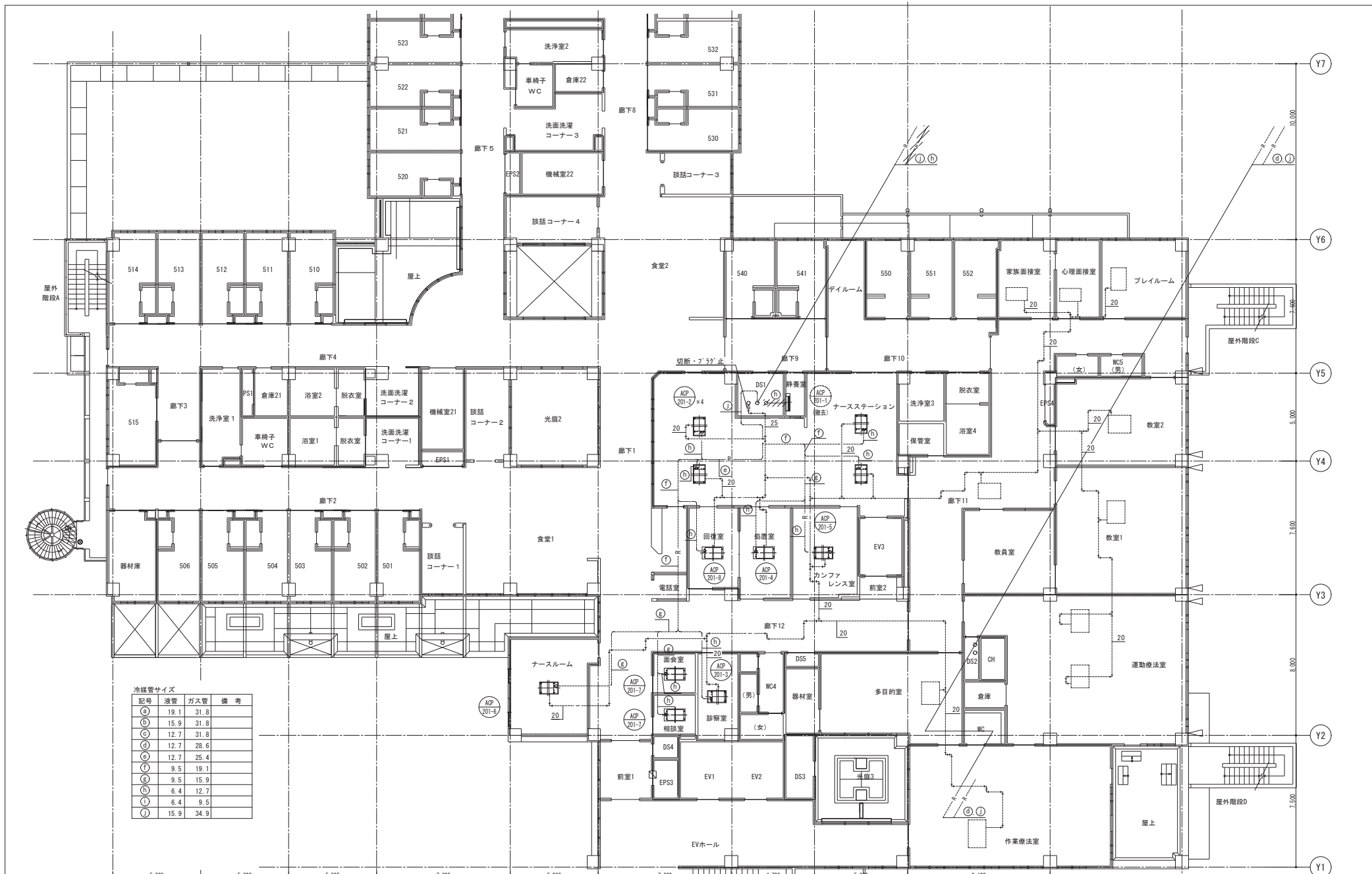
冷媒管サイズ

記号	液管	ガス管	備考
(A)	19.1	31.8	
(B)	15.9	31.8	
(C)	12.7	31.8	
(D)	12.7	28.6	
(E)	12.7	25.4	
(F)	9.5	19.1	
(G)	9.5	15.9	
(H)	6.4	12.7	
(I)	6.4	9.5	
(J)	15.9	34.9	

注1) 特記なき空調機、実線配管は全て撤去・新設とする。  
 2) 破線配管は既存再使用を示す。

工事名称	21精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	空調設備 新館棟1階平面図【撤去・新設】	M-07	
縮尺	1/100		
日付	令和3年9月30日		
株式会社 雙設備研究所			
一級建築士事務所 登録 第(4)8378号 竹馬 章二			





冷媒管サイズ

記号	液管	ガス管	備考
(A)	19.1	31.8	
(B)	15.9	31.8	
(C)	12.7	31.8	
(D)	12.7	28.6	
(E)	12.7	25.4	
(F)	9.5	19.1	
(G)	9.5	15.9	
(H)	6.4	12.7	
(I)	6.4	9.5	
(J)	15.9	34.9	

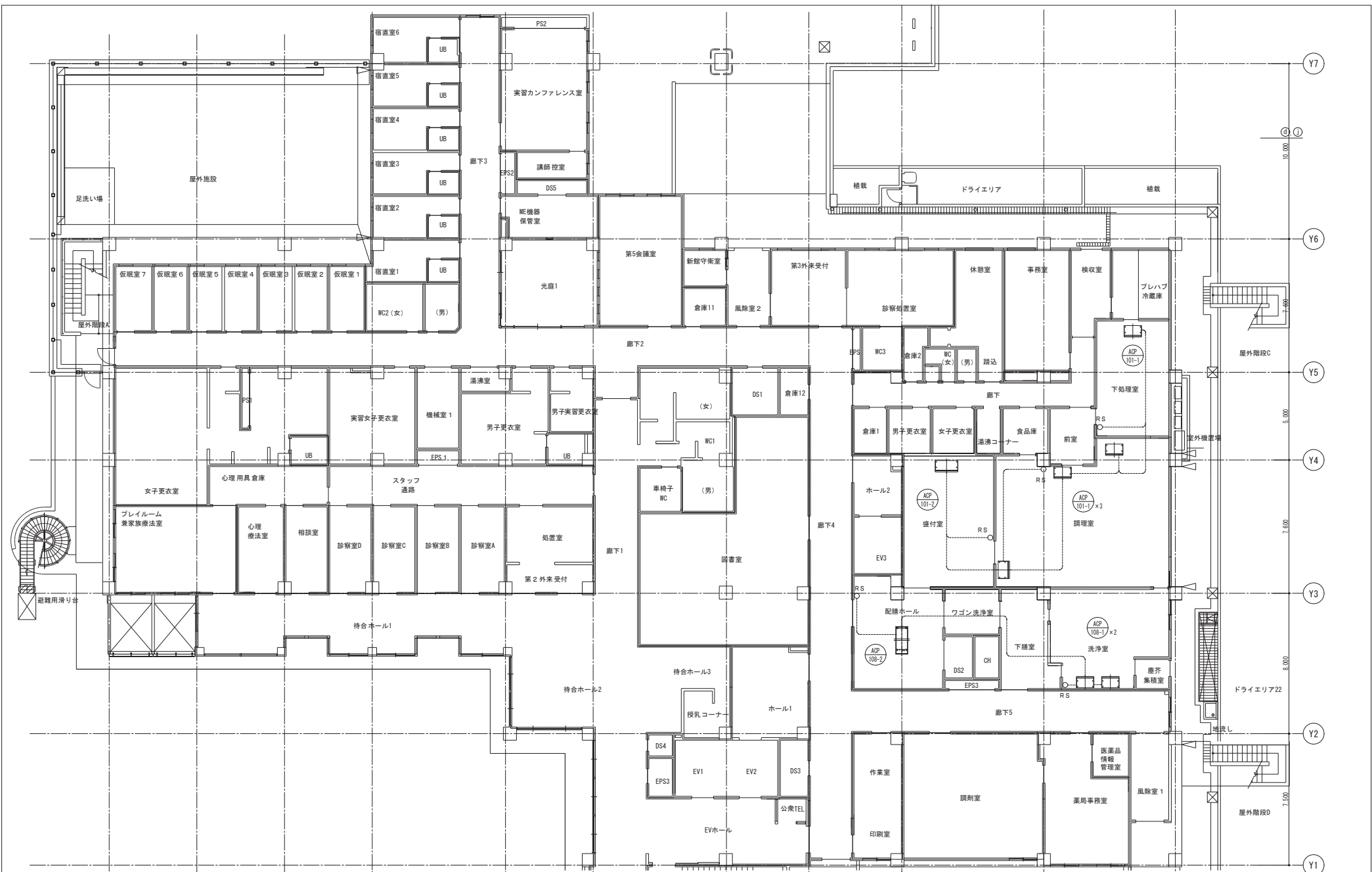
注 1) 特記なき空調機、実線配管は全て撤去・新設とする。3) 加湿用給水管の切断・フタ止の下流側は残置とする。  
 2) 破線配管は既存再使用を示す。切断・フタ止の下流側給水管に接続する全ての機器について水抜きを行う。  
 また、今回更新対象機器廻りの給水管は取外しフタ止とする。  
 4) ////////////// 撤去配管を示す。

工事名称	21精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	空調設備 新館棟2階平面図 【撤去・新設】	M-08	
縮尺	1/100		
日付	令和3年9月30日		
株式会社 雙設備研究所			
一級建築士事務所 登録第(4)8378号 竹馬 章二			



工事名称	21精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	空調設備 新館棟3階平面図 【撤去・新設】	M-09	
縮尺	1/100		
日付	令和3年9月30日		
株式会社 雙設備研究所			
一級建築士事務所 登録第(4)8378号 竹馬 章二			





工事名称	21精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	自動制御設備 新館棟1階平面図【撤去・新設】	M-11	
縮尺	1/100		
日付	令和3年9月30日		
株式会社 雙設備研究所			
一級建築士事務所 登録第(4)8378号 竹馬 章二			

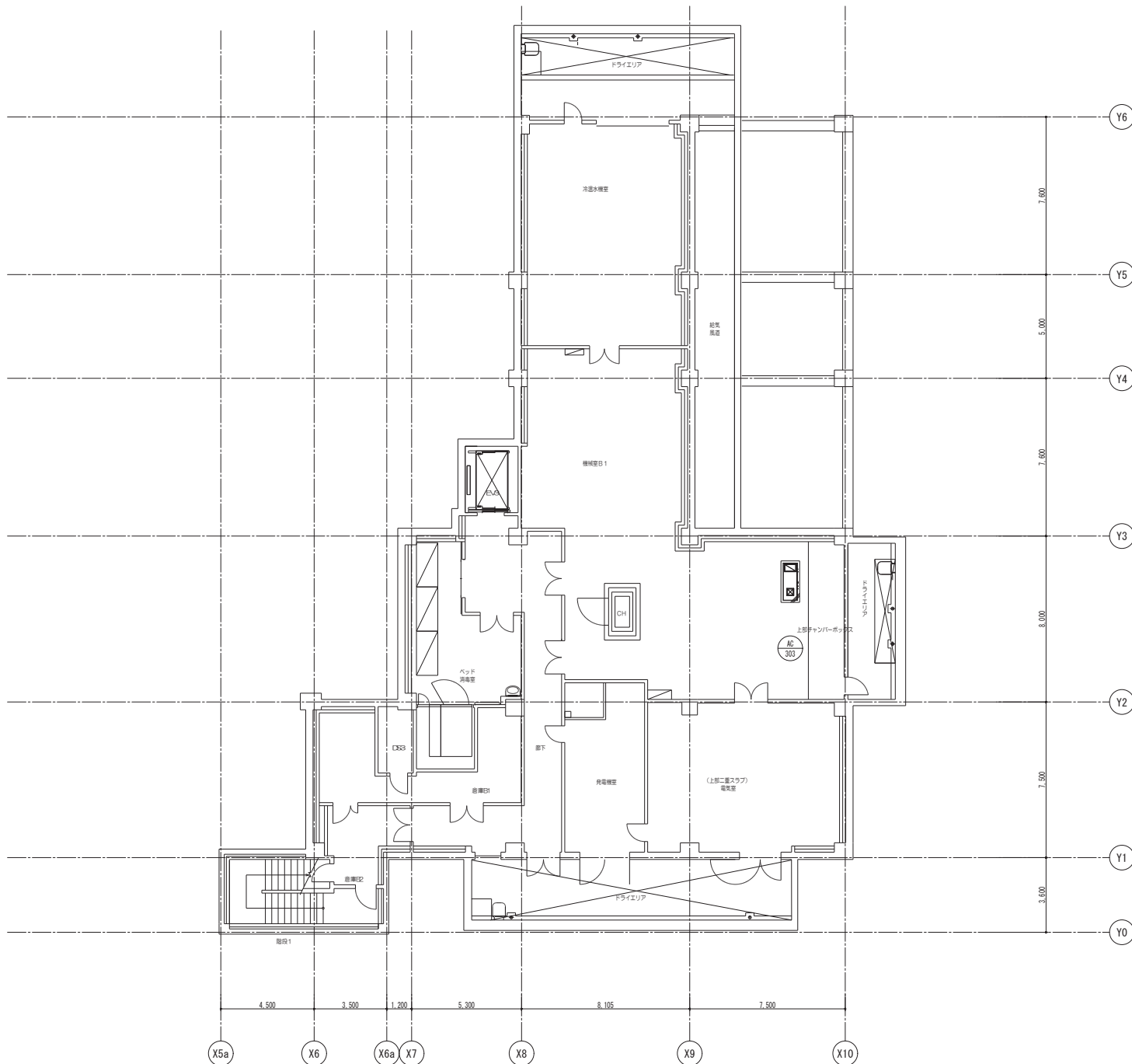
注1) 特記なきリモコンスイッチは全て撤去・新設とする。  
 2) 破線配線は既存再使用を示す。



- 注1) 特記なきリモコンスイッチは全て撤去・新設とする。  
 注2) 破線配線は既存再使用を示す。  
 注3) 室内湿度検出器及び配線は撤去とする。室内湿度検出器は撤去後プレート蓋ぎ150×150とする。

工事名称	21精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	自動制御設備 新館棟2階平面図【撤去・新設】	M-12	
縮尺	1/100		
日付	令和3年9月30日		
株式会社 雙設備研究所			
一級建築士事務所 登録第(4)8378号 竹馬 章二			





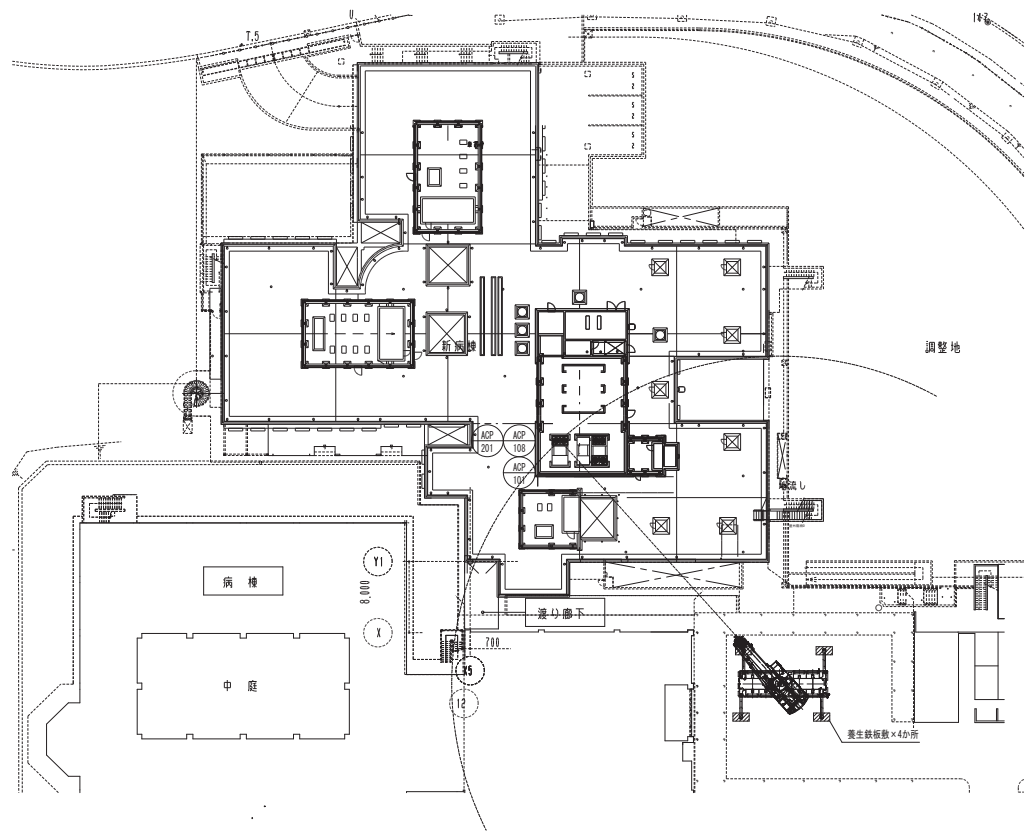
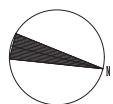
工事名称	21精神医療センター新館機熱ポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	空調設備 新館機地下1階平面図 【外気処理空調機整備】	M-14	
縮尺	1/100		
日付	令和3年9月30日		
株式会社 雙 設 備 研 究 所			
一級建築士事務所 登録 第 (4)8378 号 竹馬 章二			



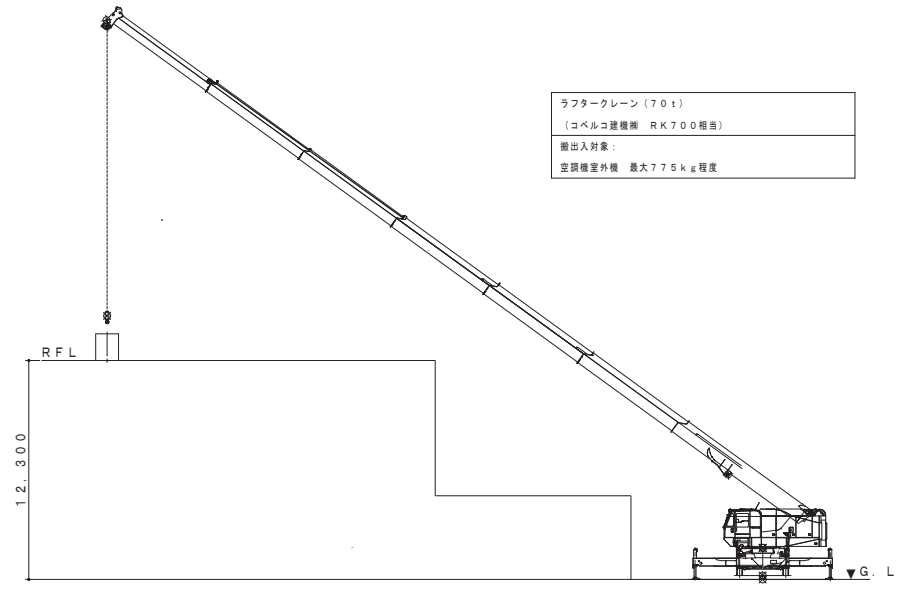




工事名称	21 精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	空調設備 新館棟3階平面図		M-16
	【外気処理空調機整備】		
縮尺	1/100		
日付	令和 3年9月30日		
株式会社 雙 設 備 研 究 所			
一級建築士事務所 登録 第 (4)8378 号 竹馬 章二			



搬入平面図 S=1/300



ラフタークレーン (70 t)  
 (コベルコ建機種 RK700相当)  
 搬出入対象:  
 空調機室外機 最大775kg程度

搬入立面図 N/S

工事名称	21精神医療センター新館様ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	仮設図 (参考図)	M-17	
縮尺	1/300		
日付	令和 3年9月30日		
株式会社 雙 設 備 研 究 所			
一級建築士事務所 登録 第 (4)8378 号 竹馬 章二			

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

1.1 工事名 21精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事

1.2 工事場所 北足立郡伊奈町小室918-2

1.3 工期 契約日から令和4年6月24日まで

1.4 工科目 (○印の付いたものを適用する)

○ 電灯設備	・ テレビ共用受信設備
○ 動力設備	・ テレビ電線障害排除設備
○ 電気設備	・ 監視カメラ設備
○ 雷保護設備	・ 駐車管理設備
○ 受変電設備	・ 防火、入退室管理設備
○ 直流電源設備	・ 自動火災報知設備
○ 発電設備	・ 自動閉鎖設備
○ 構内通信設備	・ ガス漏れ火災警報設備
○ 構内交換設備	・ 電話配管設備
○ 情報表示設備	・ 中央監視制御設備
○ 映像、音響設備	・ 医療関係設備
○ 拡声設備 (非常放送設備)	・ 昇降機設備
○ 緊急通報装置	

1.5 指定部分 ○ 無 ・ 有 ( ) 工期: 令和 年 月 日

1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)

1.7 専任期間の始期

1.8 専任期間の終期

1.9 専任期間の中断

1.10 自然災害の発生又は悪化による被害の発生により発注者からの通知により、

1.11 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く)、事務手続き、

1.12 竣工引渡しの完了が完了している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

1.13 工期: 令和 年 月 日

1.14 工期: 令和 年 月 日

1.15 工期: 令和 年 月 日

1.16 工期: 令和 年 月 日

1.17 工期: 令和 年 月 日

1.18 工期: 令和 年 月 日

1.19 工期: 令和 年 月 日

1.20 工期: 令和 年 月 日

1.21 工期: 令和 年 月 日

1.22 工期: 令和 年 月 日

1.23 工期: 令和 年 月 日

1.24 工期: 令和 年 月 日

1.25 工期: 令和 年 月 日

1.26 工期: 令和 年 月 日

1.27 工期: 令和 年 月 日

1.28 工期: 令和 年 月 日

1.29 工期: 令和 年 月 日

1.30 工期: 令和 年 月 日

1.31 工期: 令和 年 月 日

1.32 工期: 令和 年 月 日

1.33 工期: 令和 年 月 日

1.34 工期: 令和 年 月 日

1.35 工期: 令和 年 月 日

1.36 工期: 令和 年 月 日

1.37 工期: 令和 年 月 日

1.38 工期: 令和 年 月 日

1.39 工期: 令和 年 月 日

1.40 工期: 令和 年 月 日

1.41 工期: 令和 年 月 日

1.42 工期: 令和 年 月 日

1.43 工期: 令和 年 月 日

1.44 工期: 令和 年 月 日

1.45 工期: 令和 年 月 日

1.46 工期: 令和 年 月 日

1.47 工期: 令和 年 月 日

1.48 工期: 令和 年 月 日

1.49 工期: 令和 年 月 日

1.50 工期: 令和 年 月 日

1.51 工期: 令和 年 月 日

1.52 工期: 令和 年 月 日

1.53 工期: 令和 年 月 日

1.54 工期: 令和 年 月 日

1.55 工期: 令和 年 月 日

1.56 工期: 令和 年 月 日

1.57 工期: 令和 年 月 日

1.58 工期: 令和 年 月 日

1.59 工期: 令和 年 月 日

1.60 工期: 令和 年 月 日

1.61 工期: 令和 年 月 日

1.62 工期: 令和 年 月 日

1.63 工期: 令和 年 月 日

1.64 工期: 令和 年 月 日

1.65 工期: 令和 年 月 日

1.66 工期: 令和 年 月 日

1.67 工期: 令和 年 月 日

1.68 工期: 令和 年 月 日

1.69 工期: 令和 年 月 日

1.70 工期: 令和 年 月 日

1.71 工期: 令和 年 月 日

1.72 工期: 令和 年 月 日

1.73 工期: 令和 年 月 日

1.74 工期: 令和 年 月 日

1.75 工期: 令和 年 月 日

1.76 工期: 令和 年 月 日

1.77 工期: 令和 年 月 日

1.78 工期: 令和 年 月 日

1.79 工期: 令和 年 月 日

1.80 工期: 令和 年 月 日

1.81 工期: 令和 年 月 日

1.82 工期: 令和 年 月 日

1.83 工期: 令和 年 月 日

1.84 工期: 令和 年 月 日

1.85 工期: 令和 年 月 日

1.86 工期: 令和 年 月 日

1.87 工期: 令和 年 月 日

1.88 工期: 令和 年 月 日

1.89 工期: 令和 年 月 日

1.90 工期: 令和 年 月 日

1.91 工期: 令和 年 月 日

1.92 工期: 令和 年 月 日

1.93 工期: 令和 年 月 日

1.94 工期: 令和 年 月 日

1.95 工期: 令和 年 月 日

1.96 工期: 令和 年 月 日

1.97 工期: 令和 年 月 日

1.98 工期: 令和 年 月 日

1.99 工期: 令和 年 月 日

2 工事仕様

2.1 共通仕様

(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉電気設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁業務部監修公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築改修工事標準図 (電気設備工事編) (以下「標準仕様書等」という。)、及び監督員の指示に依り施工する。

(2) 機械設備工事及び建築工事を含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を用いる。

(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時に用いる最新のものとする。

2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印の付いたものがなければ◎印を適用し、○印のものも適用しない。◎印と◎印の付いた場合は、共に適用する。)

項目	特記事項
1 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承認を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 [図等による環境物品等の調達]の推進等に関する法律]に基づく特定調達品目該当する機材を使用する場合は、原則として、その調達の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とすよう努めるものとする。
2 施工条件	施工期間 ※行政機関の休日に関する法律 (S63第91号) に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
3 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
4 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
5 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
6 監督員事務所	本工事で、設ける (規模) ※設けない
7 保 険	発注者は工事事務物及び工事材料について工事完成期日より14日まで、これを火災及び保障対象になっている保険契約を付けて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写しを監督員に提出すること。
8 再使用機材	取りし再使用機材は、清掃及び結露抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出すること。
9 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (S56第91号) に定める行政機関の休日以外。 ※ 適用する (契約金額による) ※ 適用しない
10 完成図書等の電子納品	完成図書等の電子納品がイ) 適用する ※ 適用しない 完成図書の表紙及び背表紙には、工事名、発、発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図中の主要機器一覧表 (名称、製造番号、形式、容量又は出力、数量等) を記載すること。 ※ 処理に先立ち計画書を作成し、処理後は圖書を提出すること。
11 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外へ搬出し、適切に処理する。 (横外搬出処理費は、※本工事・別途) (1) 引渡しを要するもの ( ) (2) 引渡しを要しないもの ( ) (3) 再資源化を要するもの ( ) (4) 特別管理産業廃棄物 ( ) ※ 処理に先立ち計画書を作成し、処理後は圖書を提出すること。

2 金属電線管の塗装

露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。  
また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。  
ただし、見えかき部の塗装については監督員の指示による。

3 継

継等の継は、既設管及び別設工事の継との継とを種別別とする。

1.4 地中電線路

(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し又は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による敷き均し土

管 種	種 別
縦貫二重電線管 (VE)	
非埋設電線管 (HIVE)	
埋設電線管 (PEP)	
ポリエチレン被覆電管 (PLP)	

(2) 地中電線路には、ケーブル敷設及び保護シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標準シートは図面特記による。

(3) 地中電線路の敷設は管方式とし、埋設深さは地表面 (舗装される部分では路面材下面) から配管の上端まで深さ、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供事業者と協議のうえ決定する。

1.5 回路の種別

ハンドホール、プルボックス及び主要なアセントボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。

1.6 電線の接続

電気が多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープを巻く。

1.7 電線管の接続

屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚膜電線管の接続は、防水処置を施し適切な工法としてよい。

1.8 残土処分

埋戻し後の建設残土は、監督員が指示する構内の場所に敷き均しとする。

1.9 再生砂・再生アスコン

契約図書中の山砂の種類、砕石及びアスコンに代用し、監督員の了解を得た上で、使用するできない。  
再生砂使用に先立ち、1層入あたり1立方メートルの透水試験を行い土壌の汚染に環境基準に適合することを確認する。

2.0 耐震施工

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。

(1) 設計用水平地震力  
機器の重量 [kg] に、設計用水平地震力を乗じたものとする。  
なお、特記なき場合、設計用水平地震力は、次による。

設備場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要な設備	一般設備
上層階	無	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振基礎設置	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 (※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	無	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の確保	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	無	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の確保	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

[備 考] (※1) : 水槽類には、オイルタンク等を含む。

2.1 あと施工アンカー

機器・配管等の取付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承認を受けるものとする。  
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。  
施工は、(一社)日本建築業と施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を持った者が行うこと。  
金属建築系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。  
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、圧縮の完了がわかる記録を添付すること。  
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)

2.2 はつり及びあと施工アンカー打設

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所について経緯確認を実施すること。

2.3 改修部分の足場

本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。  
(1) 内部足場 ※ 別途定着  
(2) 外部足場 ※ A種 (特種足場) ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種  
※ 足場を設ける場合は、「1」の手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省発第0424001号平成14年4月4日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、おさんびく幅木を有する足場とし、足場の組立て、解体又は廃棄の作業は、「手すり先行工法」による足場の組立て等に関する基準」(の2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

2.4 屋落制止用器具 (落下防止ネット型)

※使用を要する 屋落制止器具の安全な使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け発第0622第号) による。  
・使用を要しない

2.5 電気保安技術者

(a) 受注者は、電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。  
(b) 電気保安技術者は、次による者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料を監督員に提出し承諾を受ける。

2.6 工事用電力設備の保安責任者

(1) 事業用電力設備に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者。一般電気工事施工監理技士又はこれと同等の知識及び経験を有する者。  
(2) 一般用電力設備に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者。  
(3) 電気保安技術者は、監理技術者、主任技術者、主任代理人が兼任できる。  
(4) 電気保安技術者は、監督員の指示に従い、電気工作物の保安業務を行う。  
(5) 電気主任技術者は、電気設備を設置する工事においては、電気主任技術者及び監督員と協議し保安業務に支障がないよう努める。

2.7 その他

(1) 施工に先立ちで管理及び関連設備の業者と打合せのうえて施工図を作成し、監督員の承認を受ける。  
(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。  
(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後使用する。  
(4) 本工事にかかる重要工場の諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。  
(5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコメリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。  
(6) 改修工事を実施する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に総線抵抗、低圧品等用の測定を行い、記録記録を提出すること。  
(7) 受注者は、施工にあたって設置設備に支障の無いように保護に打合せを行うこと。  
(8) 本工事における電気設備が必要な場合、事前に計画書電気主任技術者から提出する。また、停電装置・安全装置設置者が行い、その費用は受注者の負担とする。  
(9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校及び学校周辺に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せし決定すること。  
(10) 工事を実施し、監督員と打合せの上、住民及び関係自治体等に對して工事実施を実施すること。また、工事実施に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知すること。  
以上をこを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2.3 工事別一般事項 (特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する)

項目	特記事項
1 電灯設備	(1) 配線器具 スイッチ・蛍光灯コンセント(2P15A)は通用形とする。なお、2口コンセントは複式を使用してもよい。 フラッシュレットは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 ただし、無害住宅における住戸内のフラッシュレットについては、樹脂プレーンを使用することもできる。 コンセント器具に具備されている送り配線器具は使用してはならない。 (2) 照明器具 防炎用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとす。 (3) 照度測定 電灯設備工事の際、管工工事の場合は軒先後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7012「照度測定方法」により、学校においては学校環境基準値より少なくとも1割増しとする。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 継付 天井又は壁埋込タイプのボックスは、取りしカバーと仕上り蓋とが10mm程度以上離れる場合は継付を使用する。ただし、ポード張りて、ポード裏面に塗しカバーの間が離れないように施工した場合は、継付を必要としない。 (6) 位置ボックスの配線 ケーブルところが正確で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線器具が具備されている場合は、位置ボックスを省略してもよい。
2 動力設備	(1) 動力制御盤及び照明器具の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り線用端子台は1負荷につきU・V・WのE4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷の接続は、工事実施による。ただし、制御盤以外が別設工事の場合は、当該制御盤の電源接続後とする。
3 雷保護設備	受雷部突針はL R 1とする。
4 受変電設備	高 圧 引 込 引込口は、設計図に示された位置を電力会社に申請する。また、ケーブル等の敷設及び、その保楽処理は監督員の立会いのうえて施工する。 (末端処理 ・ 耐塩用 ・ 一般用) 受 電 電 圧 交流 3相3線式 6.6kV 50Hz 柱上高圧気中 負荷開閉器(MAS) 主 変 断 路 器 受変電設備容量 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 動力用 kVA x 台 電灯用 kVA x 台 高圧送電用コンデンサ kVar x 台 別列リアクトル ・ 6% ・ 1.3% kVar x 台
5 構内構内通信網設備	ネットワーク機器を筐体内に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 電気貯蔵設備	・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置

7 発電設備

- ・ ディーゼル発電装置
- ・ ガスエンジン発電装置
- ・ ガスタービン発電装置
- ・ マイクロガスタービン発電装置
- ・ 燃料電池発電装置
- ・ 熱供給(コージェネ)発電装置
- ・ 太陽光発電装置
- ・ 風力発電装置

8 構内交換設備

局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえて施工する。

9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、防犯・拡声設備 (非常放送設備)

(1) 所轄する消防署と打合せの上、各関係条例等に依り施工する。  
(2) 総合的な機能確保に使用し、図面を記載して設置するものとする。  
(3) ガス漏れ火災警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえて行うものとする。

10 昇降機設備

特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁業務部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) による。  
なお、無害住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

2.4 取付高さ

壁、壁掛けの機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)	
		一 般	無害住宅
スイッチ (一般)	床土上中心	1,300	1,200
" (身体障害者用)	"	1,100	1,000
" (老人センサー用換用)	"	2,000	2,000
2口の、電圧用70V以下、直列エッジ (一般)	"	300	400
" (浴室)	"	150	200
" (台上)	台土上中心	500	500
防水型コンセント	床土上中心	150	500
分電盤、制御盤、開閉器箱	" (上層1,900以下) 500 (上層1,900以上) 1,500	900	900
呼吸器ボック (身体障害者用)	"	1,800	1,800
履帯ボック ( " )	"	2,000	2,000
端子箱 ( " )	" (上層1,900以下) 500 (上層1,900以上) 1,500	2,000	2,000

3 その他

3.1 他工事との取分け

発注図又は工事区分表による。  
工事区分表に備える機器の移動、取付足場と養生等は、機械設備工事に含む。

3.2 図面上の縮尺

図面上の縮尺は、JIS A 1版とし縮尺とする。

3.3 疑義

本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

3.4 新型コロナウイルス感染症対策について

工事の施工に当たっては、国土交通省土地・建設産業局建設業課長発「新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえた工事及び業務の対応について」(令和3年1月7日付事務連絡)を踏まえ、適切対応を行うこと。

建設仮断切断に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

第1条 この特記仕様書は、埼玉電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装仮断切断に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に關し必要な事項を定めるものとする。

第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。  
・ 種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) m<sup>3</sup>  
・ 中間処理施設 市 地内、(株)  
・ 処理方法  
・ 中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に汚濁防止を要する)

第3条 受注者は、別の中間処理施設を運営する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

第4条 受注者は、建設仮断切断作業を行いつつ濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

第5条 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。

第6条 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

第7条 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理業 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。

第8条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写しを添付すること。

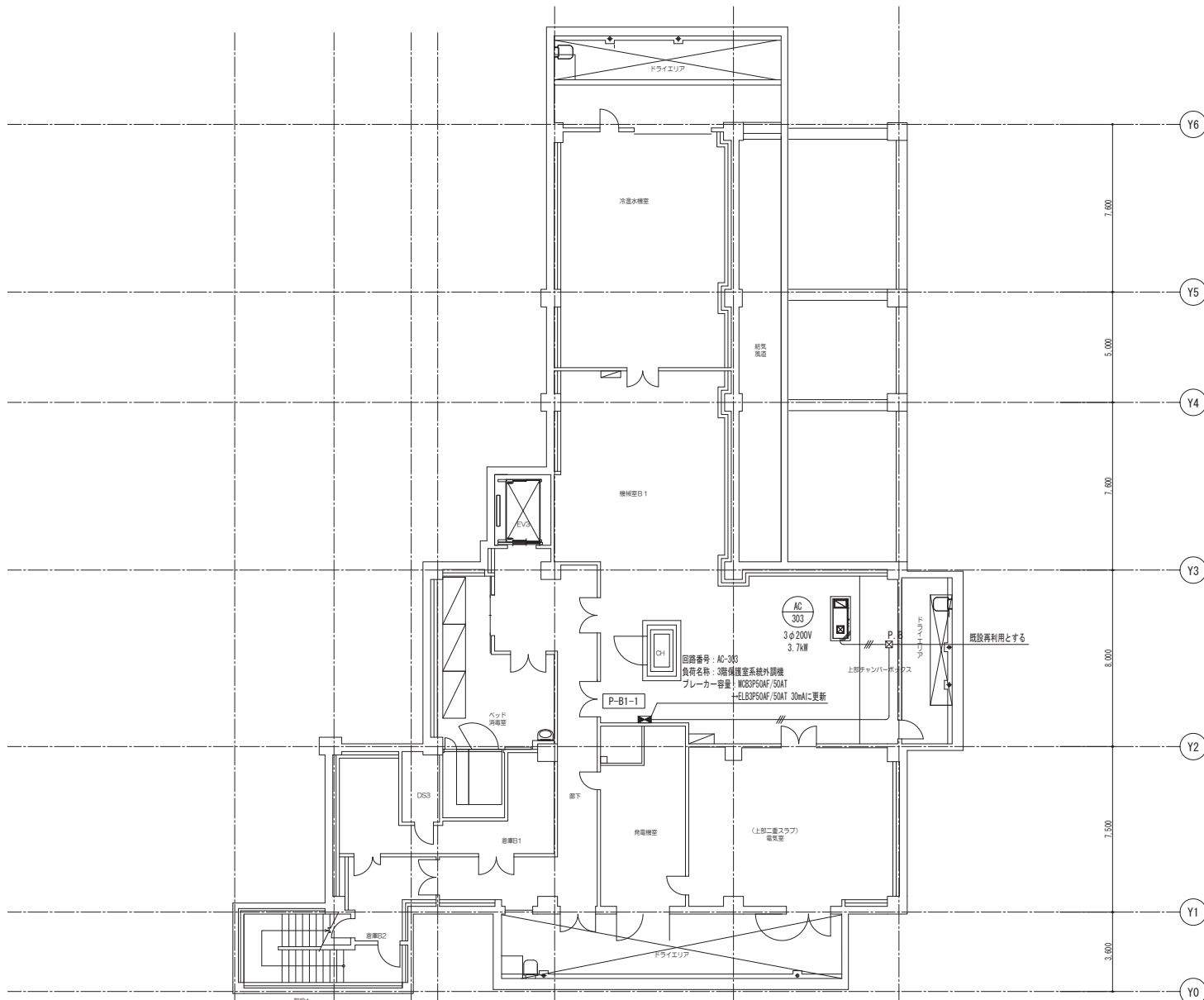
第9条 受注者は、工事検査時マニフェスト原簿を提示する。

第10条 濁水処理量については、舗装仮断切断に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。

第11条 受注者は、舗装仮断切断に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。

この特記仕様書に疑義が生じた場合には、別途監督員と協議するものとする。

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部 管理幹 主 幹 主 査 担 当 縮 尺	工 事 名 称	図 名	図面番号
		A1 : N/S A3 : N/S	21精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事	電気設備工事特記仕様書	E-01



**【凡例】**  
 特記なき配管配線は下記とする

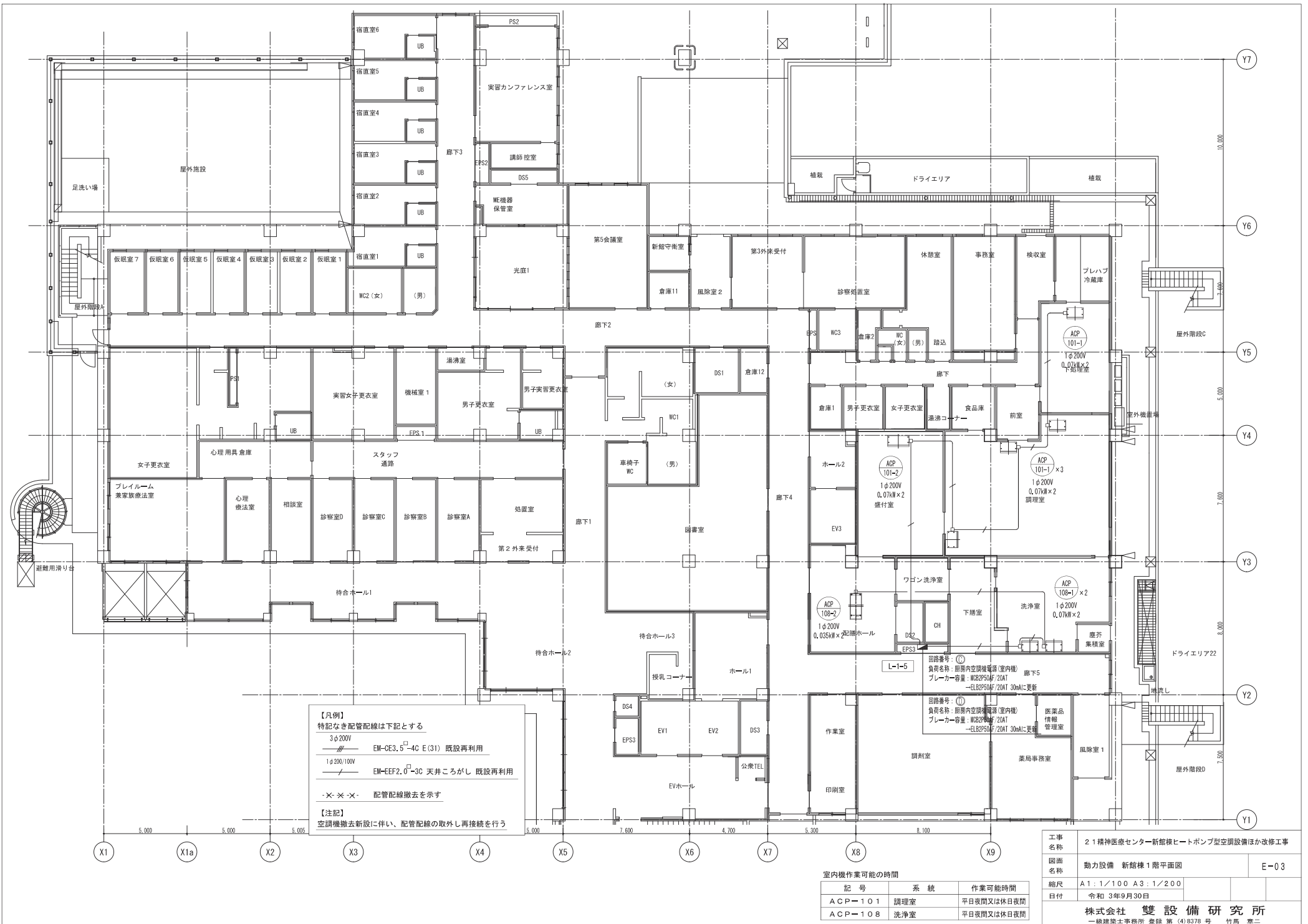
3φ200V  
 EM-CE3.5<sup>□</sup>-4C E(31) 既設再利用

1φ200/100V  
 EM-EEF2.0<sup>□</sup>-3C 天井ごらし 既設再利用

・×・×・×・ 配管配線撤去を示す

**【注記】**  
 空調機撤去新設に伴い、配管配線の取外し再接続を行う

工事名称	21精神医療センター新館機熱ポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	動力設備 新館機地下1階平面図	E-02	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200		
日付	令和3年9月30日		
株式会社 雙設備研究所 <small>一級建築士事務所 登録第(4)8378号 竹馬 章二</small>			



【凡例】  
 特記なき配管配線は下記とする  
 3φ200V  
 EM-CE3.5-4C E(31) 既設再利用  
 1φ200/100V  
 EM-EEF2.0-3C 天井こころがし 既設再利用  
 -X-X-X- 配管配線撤去を示す  
 【注記】  
 空調機撤去新設に伴い、配管配線の取外し再接続を行う

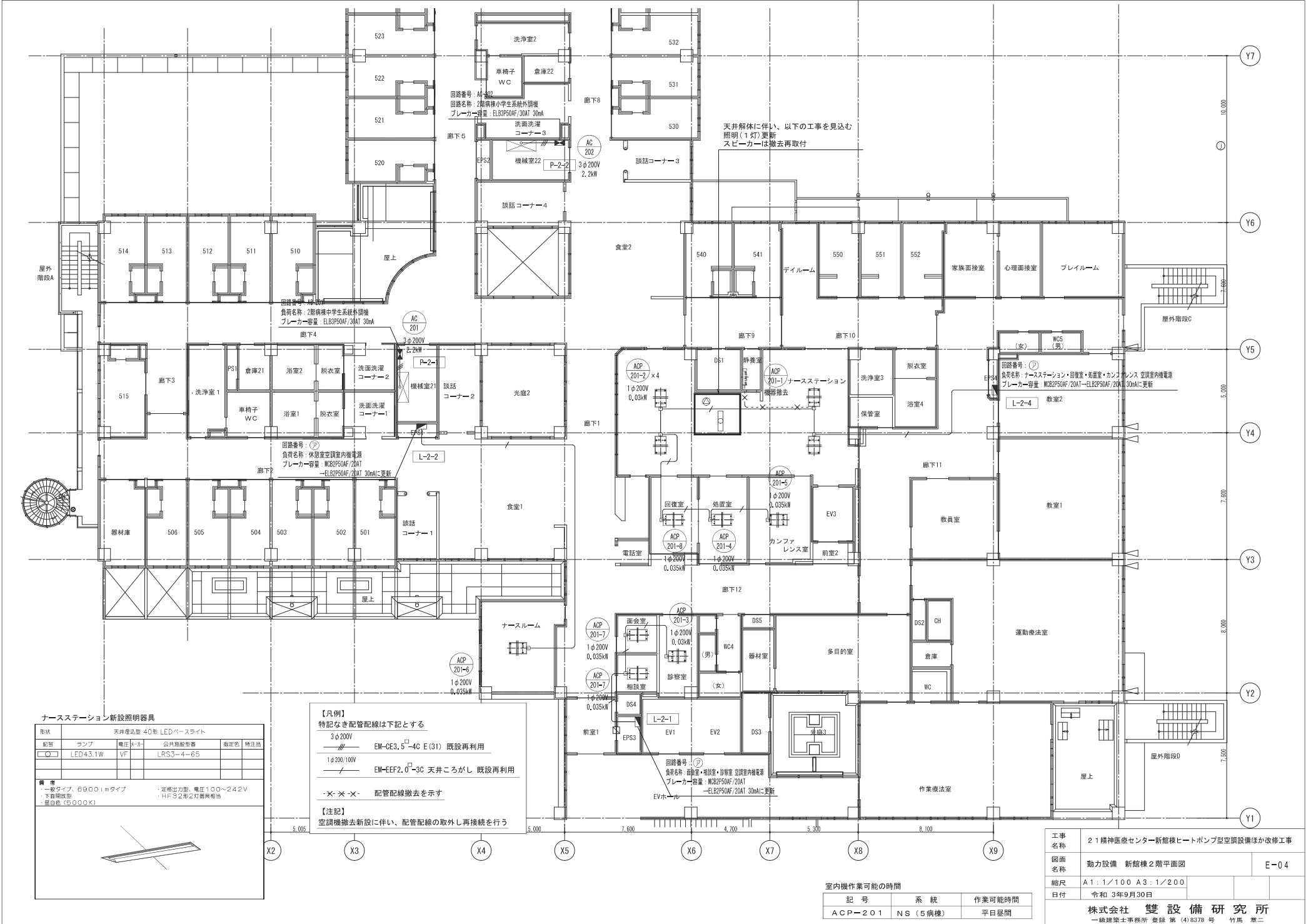
回路番号 ①  
 負荷名称 室内空調機電源(室内機)  
 ブレーカー容量: M82P50F/20AT  
 →ELB2P50F/20AT 30mAに更新

回路番号 ②  
 負荷名称 室内空調機電源(室内機)  
 ブレーカー容量: M82P50F/20AT  
 →ELB2P50F/20AT 30mAに更新

室内機作業可能な時間

記号	系統	作業可能時間
ACP-101	調理室	平日夜間又は休日夜間
ACP-108	洗浄室	平日夜間又は休日夜間

工事名称 21精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事  
 図面名称 動力設備 新館棟1階平面図 E-03  
 縮尺 A1:1/100 A3:1/200  
 日付 令和3年9月30日  
 株式会社 雙設備研究所  
 一級建築士事務所 登録第(4)8378号 竹馬 豊二



**ナースステーション新設照明器具**

形状	天井埋込型 40形 LEDベースライト					
記号	ランプ	電圧	メカ	公共施設型番	高定格	特注品
□○	LED43.1W	VF		LRS3-4-65		

備 考  
 ・ベースタイプ、6900lmタイプ  
 ・下直埋込型  
 ・器具白色(5,000K)  
 ・定格出力型、電圧100~242V  
 ・H/F 2形2灯器具相当

**【凡例】**  
 特記なき配管配線は下記とする

$3\phi 200V$   
 $EM-CE3.5-4C E(31)$  既設再利用  
 $1\phi 200V/100V$   
 $EM-EF2.0-3C$  天井ころしがし 既設再利用  
 $-X-X-X-$  配管配線撤去を示す

**【注記】**  
 空調機撤去新設に伴い、配管配線の取外し再接続を行う

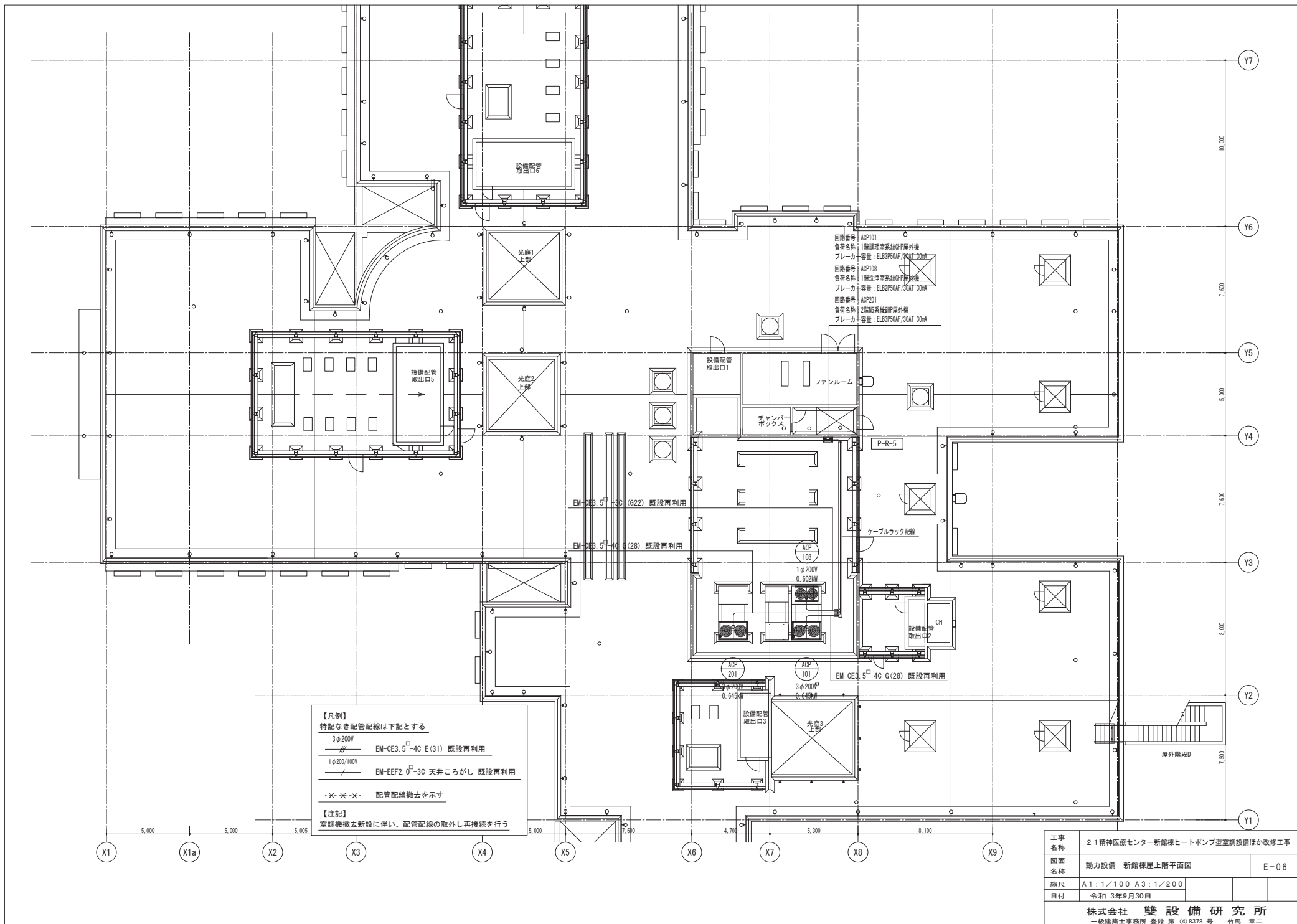
室内機作業可能な時間

記号	系 統	作業可能時間
ACP-201	NS (5病棟)	平日昼間

工事名称	21 精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	動力設備 新館棟2階平面図	E-04	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200		
日付	令和 3年9月30日		
株式会社 雙 設 備 研 究 所			
一級建築士事務所 登録 第 (4)8378 号 竹馬 豊二			



工事名称	21精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	動力設備 新館棟3階平面図	E-05	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200		
日付	令和3年9月30日		
株式会社 雙設備研究所			
一級建築士事務所 登録 第(4)8378号 竹馬 章二			



回路番号: ACP101  
 負荷名称: 1階管理室系統HP屋外機  
 プレーカ容量: ELB3P50AF/30AT 30kW  
 回路番号: ACP108  
 負荷名称: 1階光浄室系統HP屋外機  
 プレーカ容量: ELB2P50AF/30AT 30kW  
 回路番号: ACP201  
 負荷名称: 2階NC系統HP屋外機  
 プレーカ容量: ELB3P50AF/30AT 30kW

**【凡例】**  
 特記なき配管配線は下記とする  
 3φ200V  
 EM-CE3.5<sup>□</sup>-4C E(31) 既設再利用  
 1φ200/100V  
 EM-EEF2.0<sup>□</sup>-3C 天井ころがし 既設再利用  
 -X-X-X- 配管配線撤去を示す  
**【注記】**  
 空調機撤去新設に伴い、配管配線の取外し再接続を行う

工事名称	21精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	動力設備 新館棟屋上階平面図	E-06	
縮尺	A1:1/100 A3:1/200		
日付	令和 3年9月30日		
株式会社 雙 設 備 研 究 所			
一級建築士事務所 登録 第 (4)8378 号 竹馬 章二			